

日本共産党 横浜市会議員団 ほっとライン

2023年2月3日(金) 電話045(671)3032 FAX045(641)7100

2/7(火)
午後1:20頃

2023年第1回定例議会

横浜市議会では1月30日(月)から3月16日(木)まで第1回定例会が開かれています。日本共産党は市政チェックの役割をしっかりと果たしながら、市政を前に進める提案型論戦に尽力します。ぜひ傍聴にお越しください。横浜市会ホームページでネット中継も見られます。



議案関連質問 かわじ民夫 議員 (旭区選出)

主な質問内容(予定)

●「教員の未配置問題」の早期解消を

学校現場では4月の始業式で教員が配置されないクラスがあったり、産休・育休の代替え教員も補充できない深刻な事態にある。

教員採用試験の募集人数を大幅に増やすことが必要。年度途中の産休・育休、長期療養休暇などの代替教員の確保案として、年度当初から市、独自に教員を採用すること。

●地域を衰退させる学校統廃合を止めよ

横浜市は、国の方針にもとづいて統廃合を推進している。しかし文科省は「学校を当該地域コミュニティの存続や発展の中核的な施設と位置付け、地域をあげて充実を図る」場合は統合を選択せずに、小規模校を存続させる道も認めている。

統廃合計画をつくる前に、この要件の有無を確認するための調査を行うこと。

●保育所における子どもの安心・安全対策は人の配置をふやし処遇改善をすること

バスの置き去り事故など、あってはならないこと。保育所等の送迎用バス等への安全装置の設置や、ICTを活用したこどもの見守りサービスの導入等も必要だが、根本的な解決に向けて人の配置をふやし、処遇改善をすることを求める。

●新型コロナの5類引き下げについて

横浜市長は市民の命と健康に責任を持ち、国の無責任な政策変更にも唯々諾々としたがわれないこと。感染ルート、感染源など3年間のデータ分析を市として行い、市民にその情報を提供する役割はデータサイエンティストの市長だからこそ、果たせるのではないかと。

議会のお知らせ(議員名は党市議団の発言予定者)

2月15日(水曜日) 本会議/三日目「現年度議案討論」【岩崎ひろし】

「予算代表質問」【あらき由美子】

2月17日(金曜日) 本会議/四日目「予算関連質問」【古谷やすひこ】

2月20日～3月3日 「予算特別委員会 局別審査」

3月14日(火曜日)「予算特別委員会総合審査」【白井まさ子】【みわ智恵美】

3月16日(木曜日) 本会議/五日目 「予算議案討論」【大貫憲夫】



インターネット中継

(生・録画)もご覧ください!